

# 逆引きネームサーバにおけるlame delegation改善に向けた取り組みについて

2008年11月27日

第15回JPNICオープンポリシーミーティング

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

IP事業部 川端宏生

# 今回ご説明する内容

---

- これまでの経緯
- 現在の状況
- 皆様へお願い

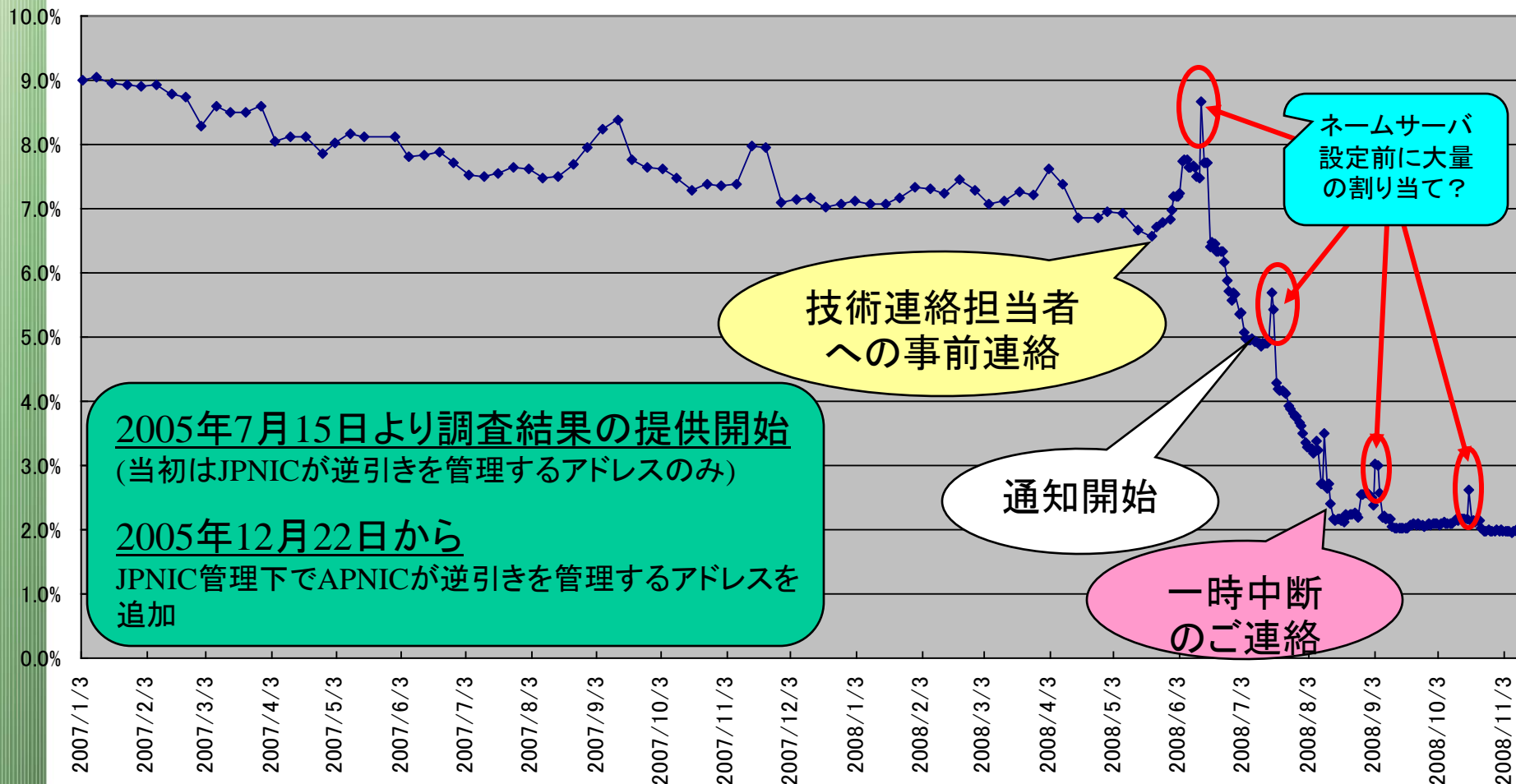
# これまでの経緯

---

- JPOPM11(2006/11)でコンセンサス
- その後、JPNICで実施に向けた準備
  - 文書・Webページ・システムなどの整備
  - 指定事業者への協力要請
  - ネットワーク情報中の技術連絡担当者への連絡(5/22)
- 2008年7月1日より実施
  - 7月1日よりチェック開始(1日1回)
  - 7月15日より順次メールによる通知を開始
  - 8月13日に取り組みの一時中断
- 現在、不具合の修正中です
  - 詳細が決まりましたら改めてお知らせいたします。

# 現在の状況

JPNICの逆引きゾーンに占めるlameのNSレコードの割合



# 皆様へのお願い

---

- **引き続きご協力をお願いします**
  - lame delegationによるインターネット全体への影響を減らすことはインターネットの安定した運用につながります
  - 今回の取り組みは準備が整い次第再開予定です
    - 電子メールによる通知やWHOIS等での表示、委任停止を行います

---

## ➤ 問い合わせ先

➤ `lame-query@nic.ad.jp`

## ➤ 逆引きネームサーバの適切な設定について

➤ <http://www.nic.ad.jp/ja/dns/lame/>

# この取り組みでの判定基準

- UDPによるSOAレコードの問い合わせに対して、AAビット付きの応答を返すこと

## digの例

```
% dig @dns.example.jp 2.0.192.in-addr.arpa. -t SOA +norec  
  
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 28757  
;; flags: qr aa; QUERY: 1, ANSWER: 1, AUTHORITY: 1, ADDITIONAL: 0  
...  
...
```

# 委任停止までの流れ (1/2)

- 調査対象のネームサーバに対し、1日1回調査
- 15日間連続してlameと判定した場合にメールで通知
  - ネットワーク情報中の技術連絡担当者
  - IP指定事業者の割り振り情報中の技術連絡担当者





## 委任停止までの流れ (2/2)

- 以降lame継続の間、週一回メールを送信
- 最初のメール通知から30日経過しても解消しない場合、該当逆引きゾーンの委任を停止
  - 逆引きゾーンからlameの NSレコードを削除
  - whoisにlameである旨表示
- 途中でlameでなくなったら日数はリセット
- 委任が停止していたときは委任再開

